

菊舎顕彰俳句大会 入選作品

大人の部 令和四年十月十六日

田耕促進センター

△賞▽

△番号▽

△作品▽

△住所▽

△氏名▽

一字庵賞

菊一一一 Uターンの息子荷を解く菊日和

下関市 古川 むつ子

県知事杯賞

雑九三 工場の始業のチャイム鳥渡る

下関市 平川 英明

下関市長賞

天

雑四四 歴代の村長に髭ねこじやらし

下関市 平川 扶久美

地

菊一六 菊月夜晩学の窓開け放つ

下関市 小田 正夫

人

雑四二 秋雲や過疎を拾って路線バス

下関市 尾倉 雅人

五客

菊三五 子ども食堂一輪の野菊あり

山陽小野田市 平島 照雄

五客

雑六五 ブルーシートの屋根も朽ちをり蔓珠沙華

周南市 山本 礼以子

五客

雑五四 この顔で行かふ一年初鏡

山陽小野田市 高來 一生

五客

菊五 初菊のあかるさに文ひらきけり

山口市 杉山 久子

五客

雑一〇 母親の味に到達夏料理

下関市 服部 俊明

佳作

菊一〇七 長寿とは孤独なること菊枕

下関市 坂本 悦子

佳作

雑三二 新米の光るむすびをもてなされ

宇部市 爲近 正子

佳作

雑一〇五 ふつつつとジャム煮る匂ひ夜半の秋

山口市 芳西 兌子

佳作

雑二五 野仏の鼻をくすぐる猫じやらし

大阪市 野口 喜久子

佳作

雑一四 朝露をはじき飛ばせし草刈機

周南市 吉浦 百合子

田耕振興協議会長賞

雑二二 禅堂の闇ふくらます虫浄土

下松市 三野 公子

雑八八 返り花黙して通ずるダイヤ婚

下関市 末益 育子

ホテル西長門リゾート賞

菊一二 通院にお洒落着の母菊日和

周南市 河本 宏子